

「生命の教育」創始者谷口雅春先生 今月の言葉

本を読むことで子供の人生も豊かになります

父母に立派な本を選んでもらいなさい

本というものは、「心」が外の景色を見るための窓のようなものです。私が中学生の時分じぶんには、中学に図書室がありました、昼の休憩時間に一しよけんめい読んだものです。それが今でもたいへん私の役に立っているのです。 「本のない部屋は窓のないようなものだ」といった人もあります。よい本がならんでいるのを見るだけでも、自分の心に楽しいよろこびをあたえるものです。よい本をしつかり読まない人で、立派になった人は

ありません。ほかの玩具おもちゃや、遊び道具を買ってもらっても、よい本をお父さま、お母さまに買ってもらって、それをつねに読むように心がけなさい。

(新装新版『生活読本』137～138頁)

本を可愛かわいがって読めば力がつく

勉強室は、好きな本をたくさんならべておいて、気がむいたとき、自然に、自分でよろこんで読むことにする方が、力がつくのであります。いやいや人から「読め」といわれて、気がすすまぬのに読んだのでは、心の窓が

しまっていて、本に書いてあることが充分頭へはいらぬのであります。本を可愛^{かわい}がって、その本をひらくことが、楽しい気持になって「わたしの可愛い本よ」といって可愛^{かわい}がってから本を読めば、本に書いてあることが、一層よく心の中にはいって来るのであります。

（新装新版『生活読本』140～141頁）

本を読むにもコツがあります

魚をとるには魚をとる方法があります。小さな魚を、目のあらい網でとろうと思っても、とれるものではありません。それと同じように本を読むには、本を読む方法があります。読みかたが大切なのであります。（中略）

心が「うわの空」になって本を読んでいるのでは、それは人間の生命^{いのち}と時間との無駄使いをやっているにすぎないのであります。本を読んでも、その著者は誰か、中味には何が書いてあったか、何をおしえるためにその本は書かれていたか——こんなことさえ気がつかないで本

を読んだ気持になっている人も随分^{ずいぶん}ありますが、それは実におろかな本の読みかたです。

（新装新版『生活読本』143～144頁）

立派な人の伝記をお読みなさい

本に書いてあることは、ただお料理の材料みたいなものであります。その材料をどのように組みあわせておいしいお料理にし、それを自分の心の滋養物にするかどうかは、本を読む人自身にあるのであります。材料のよいところは捨ててしまつて、くずのところばかりを集めて料理を拵^{こしら}へてもおいしい事はありません。本を読んでも、くずのところばかりを「面白い、面白い」といって読んで、ためになるところを捨ててしまつては読まぬほうがましな位^{くらい}です。

面白いばかりを目的に書いた本よりも、昔から立派な人になったり、世の中のために尽^{つく}した人々の伝記をお読みになることは、たいへんためになります。文章はコト

バの力で、書いてある事と同じように、読む人をならせる力をもっているものです。つまらぬ本を読んでいますと、詰らぬ人になりますし、聖人の伝記を読んでいますと、聖人になりますし、英雄の伝記を読んでいますと英雄になるものです。(新装新版『生活読本』145～146頁)

善い本は同じ本でもたびたび読みなさい

数をたくさん読むよりも、すこしの立派な本をよく味わいながら読むことは、その人の精神を立派なものにします。むやみに大食するよりも、適当な養分を適量にいただくほうが健康によいようなものであります。よい書物は一遍や二遍読んだだけで捨ててしまわないで、十回でも二十回でも、繰返し読むことです。本の表紙は大切にしてお包みでもして、一遍読み終るごとに取りかえて、新しい気持ちを出すのがよろしい。

本の中味は、読んで感心したところに赤い線を一度引いておき、その次にまた感心したところには青い線を引

いておくなどもたいへんよろしい。本にすじを引くのを遠慮することはいりません。読んだときの感想などを本の余白に書いて置くことはあとでたいへん参考になり、大人になってからも、自分の少年少女時代にこんなところを、こう考えながら読んだのだな——と思い出すのも楽しいものです。(新装新版『生活読本』146～147頁)

元気になる本を読みなさい

悲しいことの書いてる本や小説を読んではなりません。悲しいことの書いてある本を読みますと、心の中に悲しいことを思いますから、心が悲しくなり、悲しいことがあつまってきた、身体も弱くなります。勇敢なことの書いてある本、勇気の出る本、元気になる本、男らしい冒険のことの書いてある本、人に深切をする喜びの書いてある本などを読むと、読んだ通りに、勇気のある、元気な、健康な、深切な人になります。

(新装新版『生活読本』149頁)